

製図の基本を理解し、設計意図を伝えるテクニックを学ぶ 「図解力向上と最新JIS製図」講座

受講対象

新人～入社5年目ぐらいの技術者。あるいはトレーサー、CADオペレータの方。
生産技術者や加工現場の作業員。また、購買・営業などの実務で図解読解力が必要な方。

※受講生には、書籍「図解力・製図力 おちゃのこさいさい 一図面って、どない描くねん！LEVEL0」を呈呈します。

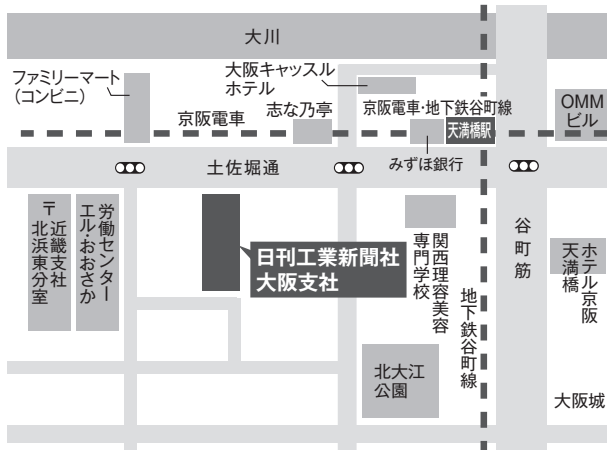
日時 2020年9月15日(火) 10:00～17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場 大阪市中央区北浜東 2-16

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)

※同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円
※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

大阪会場 (日刊工業新聞社 大阪支社10階)
大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382



*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、
京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEB
サイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。
(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、
下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない
場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

受講申込書

9/15 JIS製図LVO

お申し込みは
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考			

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

本セミナーは、“わかりやすく、すぐに役立つ図面の基礎”を習得してもらうことを目的としています。

2次元CADおよび3次元CADの普及により、従来に比して図面を描く作業は効率化しています。そんな中、あなたの設計は、線と線をつなぎ合わせて描いた、あるいは、従来図面をパラメトリックに編集(変形)したのみの「成り行きのカタチ」になっていませんか？ 機能および(その結果としての)形状をきちんと理解しなければ単なるカタチであり、重量増によるコストアップや強度不足、累積公差による品質低下を招きかねません。設計者の根拠と意図を込めた図面を作成し、モノづくりに関わるすべての方に提示しなければ、正しいモノづくりができません。

本セミナーでは、JIS製図法から投影図の表し方、寸法記入の考え方で基礎を徹底的に指導します。多忙な設計業務において、OJTで製図の作法を学ぶのが難しい時代となっており、日常的に抱えている図面の描き方への“アタマのモヤモヤ”を解消する絶好の機会となるはずですよ。

また、JIS製図法はISO(国際規格)に準拠したカタチで改定がなされており、世界に通用する図面を描くためには、図形をアタマの中で整理し、かつ、それへの理解が必須です。これらからの設計業務の質を一段とアップするために、新人～若手設計者、製図の基本を見直したい方はもちろん、トレーサー(CADオペレーター)の参加を広くオススメいたします。

☆受講効果

- ①機械設計者として図面に意志を入れるための最低限の知識が得られます。
- ②演習を通じて、機械設計者としての思考力を向上することができます。
- ③思考力を支える図解力と製図力を向上することができます。
- ④図解力を高めるアイデア発想力と図面を読む力が身につきます。
- ⑤そして、上司や先輩も正しく理解していない製図作法が学習できます。

講師

(株) ラブノーツ シニアコンサルタント **竹之内 徹** 氏

【略歴】 大阪府出身。写真処理機器メーカーにて写真焼付けプリンター、カラーコピー機の開発に約9年間従事。在籍中の1986年に科学技術庁長官賞を受賞。その後、自販機メーカーに転じ、自動販売機や券売機の開発設計。第25回技能グランプリ(機械製図)入賞。荷物運びロボットの製作を通じ、技術系の新入社員へ開発・設計に関する講義・指導を5年間行う。現在はその経験を活かし、機械製図や設計をテーマに企業の人材育成支援を行っている。

プログラム

1. 図形の理解とJISの基本

- ①設計と図面の役割
 - ②実力診断テスト
 - ③JISの決まりごとと第三角法
 - ④図解力向上(立体⇄投影図)
- *演習:フリーハンドによる立体・投影図の練習

2. 投影図の表し方と寸法記入

- ①投影図の決まりごとと最適な投影図の選定
 - ②寸法記入の決まりごと
 - ③ISOに準拠したねじ製図の変更点
- *演習:フリーハンドによる寸法記入練習

3. 寸法記入の考え方

- ①寸法の配置と普通許容差
- ②JISの定める寸法記入原則
- ③設計意図を表わす寸法記入

4. まとめ

- ①実力確認テストと解説
- ②質疑応答など

※随時、演習を行いますので筆記用具は忘れずに!

※方眼紙は事務局で用意します。定規、コンパスは不要です。

お知らせ — 製図力のステップアップに

シリーズ第2弾、第3弾として「設計意図を伝えるテクニック」(Level 1) (Level 2)を開催します。継続して受講いただくとより一層の知識と実務力が身につきます。

【Level 1】 寸法公差図面の描き方演習 2020年10月頃開催予定

1. 寸法(公差)と加工・計測の関係
 2. 寸法公差の設定方法、累積公差の考え方
 3. はめあい公差記号の意味と使い方
 4. 国際標準の面の肌記号と粗さを触って知る
- *各項目で演習問題

【Level 2】 幾何公差ははじめの一步 2020年12月頃開催予定

1. 寸法公差と幾何公差の違いとは
2. 幾何公差の基本「デーラム」とは「幾何特性」とは
3. 形を制御する～形状公差の理解～
4. 傾きを制御する～姿勢公差の理解～
5. 位置を制御する～位置公差の理解～
6. 振れを制御する～振れ公差の理解～

*各項目で演習問題